

くさつ ブースターズ
KUSATSU BOOSTERSの
健幸ワンポイント
アドバイス

今回は平田さん。
ゴスペルシンガーとして
活躍されているたびよ〜!



質問① 健幸について気をつけていること
質問② 健幸でいるためのワンポイントアドバイス



ゴスペルシンガー 平田 ゆり

- ① アロマオイル、入浴剤、オーガニックコスメなど、楽しくできる前向きアイテムを探しては試しています。
- ② 音楽は素晴らしいです。歌ったり演奏したり、コンサートを観たり、スマホで聴いたり。ぜひ音楽と共に暮らしてみてください。

水生植物公園

みずの森

〒525-0001 下物町1091
☎568-2332、FAX568-0955
開園時間 9:00~17:00

くさつ 歴史ギャラリー 151

問 草津宿街道交流館(草津三)
☎567-0030、FAX567-0031

徳富蘇峰 「聖蹟千秋存」

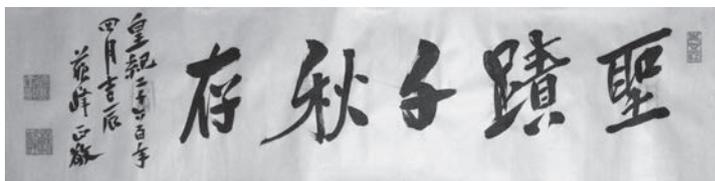
今回は、史跡草津宿本陣に伝わる、徳富蘇峰の書「聖蹟千秋存」をご紹介します。徳富蘇峰(1863~1957年)は、肥後(現在の熊本県)で生まれたのち、明治6(1873)年に新聞記者を志し、上京します。同20(1887)年には、民友社を設立し『国民之友』を創刊したのち、同23(1890)年に『国民新聞』を発行するなど、日本の政治や世論に多大な影響を与えました。

当時の日本は、土地の開拓が進み、近代化の一途をたどりますが、その一方で、その土地の遺跡や自然などの「記念物」と呼ばれた、文化財が失われていくことを危惧する声が高まっていった時代でもありました。こうした事態を踏まえ、政府は大正8(1919)年に「史蹟名勝天然紀念物保存法」を制定し、大正末期から昭和初期にかけて、明治天皇関連遺跡の史蹟指定を開始しました。滋賀県下では、明治天皇の行幸回数が多かったこともあり、指定地の大半に明治天皇聖蹟碑が建てられました。草津宿本陣は、明治元(1868)年から同5(1872)年まで、明治天皇が東京への行幸や京都へ向かう際、数回にわたって利用したことから、昭和9(1934)年に「史蹟明治天皇行在所」に指定され、その後、同14(1939)年から翌年にかけて、国庫補助のもと、大規模な修繕が行われました。竣工に際して、本陣当主の親

戚にあたる藤野嘉平という人物が、当時、評論家・歴史家としても著名であった蘇峰のもとを訪ね、揮毫(毛筆で文字や絵を書くこと)を依頼したことから、「聖蹟千秋存」という書が伝えられています。

「聖蹟」とは神聖な遺蹟のことで、ここでは、天皇行幸のあとを指します。「千秋存」とおり、天皇行幸のあとである、本陣の繁栄を願うことから転じて、当時の国家制度であった、天皇制の永続を意味していると考えられます。また、書の末尾で用いられている「皇紀」は、神武天皇が即位した紀元前660年を元年とした紀元のことです。明治政府によって定められました。特に、書に認められる昭和15(1940)年は「皇紀二千六百年」に当たることから、奉祝行事が盛大に行われた年であり、皇室中心主義を唱えた蘇峰らしい紀年といえます。

蘇峰をはじめとした著名な人物の揮毫のあとは、各地で残されています。ぜひ探してみてください。



▲ 書「聖蹟千秋存」(草津宿本陣蔵)

4月30日現在(対前月比) 人口135,664人(+498) 男68,100人(+320) 女67,564人(+178) 世帯数60,121世帯(+459)



広報くさつ・くさつ市議会だよりは、スマートフォン用アプリでも配信中

